

第一回新しい資本主義実現会議提出資料

令和3年10月26日

(株) シナモン 代表取締役社長 CEO 平野未来

新しい資本主義実現本部の下、「成長と分配の好循環」と「コロナ後の新しい社会の開拓」をコンセプトとした新しい資本主義を実現していくため、それに向けたビジョンを示し、その具体化を進めるため、以下の問いかけと実現のヒントとなる内容を付議したく、“資本主義をアップデートする挑戦”という視点でまとめたものである。

1) 成長の定義を、Inclusive Wealth（経済資本+人的資本+自然資本）としては

いかがか

新しい資本主義の実現においては、GDPの追求だけでは限界があり、短期的な経済発展のみならず、持続可能性にも焦点を当て、多様な資本の充実を図り、心の豊かさや成長の持続可能性を実現すべき。成長の定義をより広範なものとする議論が必要と考える。

2) あらゆる多様性の増大を目指すことが重要ではないか

人材の多様性、働き方を含むライフスタイルの多様性、生物多様性。成長やイノベーションの促進の観点と、分配を円滑に遂行するためにより多様な人材、働き方、価値観を包摂しうるインクルーシブな社会の実現が肝要。

3) レジリエンスの最大化

日本においては地震、噴火、台風など自然災害が不可避である。さらにパンデミックリスク、地政学的リスクが増大している。レジリエンスに真正面から向き合うことが重要。また、気候変動の影響をうけつつあるという世界的視野に立てば、この領域で新たな成長の源泉として、我が国がリーダーシップをとれる可能性が存在している。

4) 新しい成長の根源としての ESG・SDGs、等を AI で加速するシナリオが必要

日本の AI 活用はいまだコスト削減として捉えられている。ESG・SDGs 等は、

もはや犠牲的出費ではなく、成長の源泉となっている。企業のパーパスと、それを実現し成長につなげる諸外国に追いつくべく AI の戦略的な活用を推進すべき。

5) 国内人口減少を前提に、人口増加傾向にあるアジアの成長を日本の成長と分配に繋げる施策が要。

アジアの新興・途上国では、引き続き高い成長を示している。日本の成長と分配の実現に、アジアの成長と高度人材を取り込んでいくことは必然である。私たちの会社でも、ベトナムと台湾に人工知能研究所を持ち、アジアの優秀な人材と最先端の AI 開発に取り組んでいる。

以上